

本明谷鳳凰山の見送り

ほんみょうだに
ほうおうやまのみおくり

市指定

所在地：本明谷



川原住吉神社の祭礼に曳き出される山車の一つ、本明谷鳳凰山にかける見送りで、錦の綴れ織りによって作られている。制作年代は元禄年間（1688～1704）で、地元の伝承では100年前に京都で入手したとする。

図柄は上段に鳳凰を配し、中央には中国前漢の人東方朔^{とうほうさく}の旅する姿が描かれている。天界の鳳凰、地上の東方朔とを分ける帯状文様が構図として注目される。

東方朔^{せいおうぼ}は西王母（中国の仙女の一人）の桃園で桃を食べ、不老長寿を手にしたと伝えられ、見送りに相応しいモチーフとなっている。